

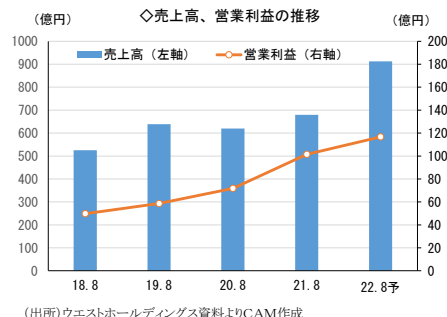
企業ニュース ウェストホールディングス

(東証JASDAQ : 1407) <http://www.west-gr.co.jp/>

作成者: 奥村義弘

太陽光発電システム等の再エネ事業を中心に展開

1984年、住宅設備機器の卸売及び施工を目的に設立。現在は、公共・産業用太陽光発電システムの企画・設計・施工・販売及びこれらの事業を営む企業に対して商材の卸売販売を行う「再生可能エネルギー事業」、LED照明や空調設備を用いた省エネのトータルサービスを行う「省エネルギー事業」、電力小売事業と自社売電事業を行う「電力事業」、太陽光発電システム及び関連設備等の総合管理・保守を行う「メンテナンス事業」を展開する。21.8期の売上高構成比は、再生可能エネルギー事業51%、省エネルギー事業3%、電力事業44%、メンテナンス事業2%。中期経営計画では、24.8期に営業利益170億円、日本一のファブレス再エネ電力会社を目指す。



旺盛な産業用太陽光発電への需要を受け成長期待は高い

21.8期の連結業績は売上高が679億円、前期比10%増、営業利益が101億円、同41%増。再生可能エネルギー事業の営業利益が49億円、同43%増と高伸長した。メガソーラーの施工・販売開発が順調に推移。メガソーラー再生案件も収益性の高い案件の売却が実現した。産業用太陽光発電では、環境意識の高まりで自家消費型の受注が拡大した。省エネルギー事業の営業利益は9億円、同48%増。省エネにつながるLED照明や空調設備などが増加した。電力事業は営業利益が28億円、同33%増。提携金融機関からの紹介で販売先を拡大させた。また自社売電事業で安定した収益の確保を目指している。メンテナンス事業は営業利益が3億円、同27%減。組織変更に伴う人件費増はあったが、メガソーラー再生事業とのシナジー効果は大きく、契約件数を伸ばした。

22.8期の会社計画は売上高が913億円、前期比34%増、営業利益が117億円、同15%増。今期は売上高の伸びに比べて利益の伸びが小さいのは、利益率の高いメガソーラー案件が端境期に入り、電力小売や産業用太陽光発電が伸長すると見ているため。産業界のカーボンニュートラル実現に向けて再エネニーズは旺盛で、優れた制御技術やメンテナンス力を持つ同社への期待は高い。

【株価動向・投資判断】

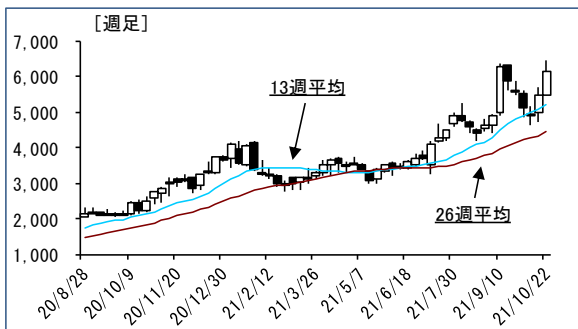
足元は、利益率が向上した決算実績が株価の戻りにつながったとみられる。今期の利益率は低下する計画だが、再エネ要請が強い産業界のニーズに応える企業として中長期の成長期待は高い。

<1407 ウェストHD 業績: 日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
20.8	61,947 (▲3)	7,180 (22)	6,615 (22)	4,417 (22)	107.7	45.00
21.8	67,938 (10)	10,148 (41)	9,648 (46)	6,495 (47)	159.7	50.00
22.8 予	91,250 (34)	11,672 (15)	10,972 (14)	7,132 (10)	175.3	55.00

(注) 21年3月1日付で普通株式1株につき1.3株の割合で株式分割を実施。1株利益は前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し算定



【主要株価指標】 (売買単位: 100株)	
株価 (2021/10/22)	6,140 円
年初来高値 (高値日)	6,480 円 (21/10/20)
同 安値 (安値日)	2,771 円 (21/2/25)
予想 P E R (22.8 予)	35.0 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	622.6 円
P B R	9.86 倍
予想配当利回り	0.90 %
(1株当たり配当金 55.00円)	
R O E (21.8)	28.5 %
発行済み株式数	4,603 万株